

追加型投信／内外／株式

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)

持続的な成長が期待されるプレミアム企業への投資

・当ファンドは、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図の権限を委託します。

当ファンドは、世界各国の株式のうち、持続的な成長により企業価値を拡大し続けると期待されるプレミアム企業へ厳選投資しています。本資料では、当ファンドの保有銘柄の中から、米国を基盤とするヘルスケア企業「ダナハー」を取り上げ、運用チームがどのような観点から同社を「プレミアム企業」と判断したのかをご説明します。



プレミアム企業とは・・・高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、**持続的にフリー・キャッシュフロー(企業が自由に使用できる資金)を増大させることが期待される企業**を指します。

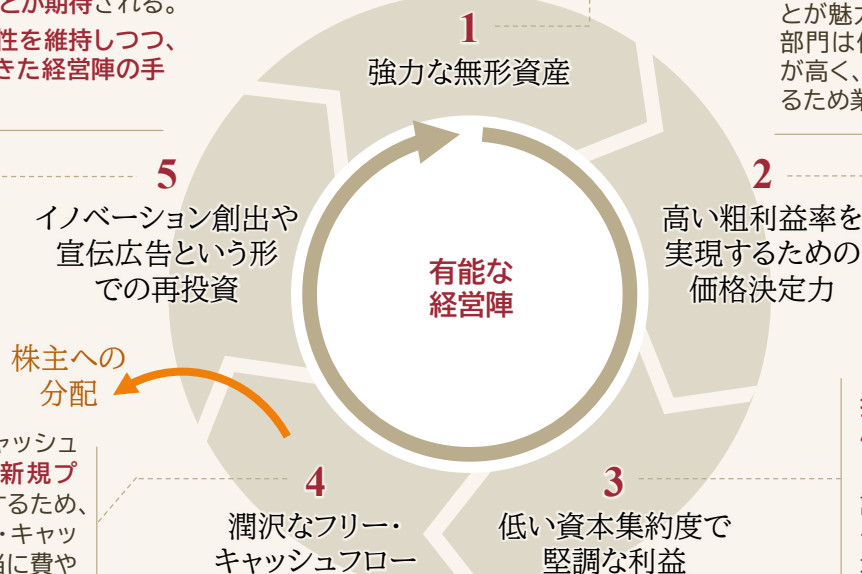
持続可能なプレミアム企業の循環 「ダナハー」の事例

稼いだフリー・キャッシュフローをもとに買収等を実施し競争力をさらに向上させることでリピート・ビジネスを確立。結果、**利益や企業価値が長期にわたって複利のように増大していくことが期待される**。
買収企業の独立性を維持しつつ、業容を拡大してきた経営陣の手腕を評価。

主要ブランドは、ライフサイエンスでポール、サイエックス、臨床検査でベックマン・コールター、ライカ・マイクロシステムズ、環境・水質検査でハック、ビデオジェット。**2021年8月にアルデブロン社を買収。同社はメッセンジャーRNA型の新型コロナウイルスワクチンの原料になるプラスミド(染色体以外のDNA)を製造しており、新たなブランドになる可能性がある**と考える。

粗利益率は60%強。(先進国株式は30%弱)

ライフサイエンス部門はバイオ薬品の製造過程を補助し、いったん採用されるとビジネスが継続することが魅力と考える。また臨床検査部門は信頼性が重要で参入障壁が高く、製品が定期的に消費されるため業績が安定的と見ている。



潤沢なフリー・キャッシュフローを**M&Aや新規プロジェクトへ活用**するため、結果としてフリー・キャッシュフローから配当に費やす割合は低く、配当利回りは低い(約0.3%)。

投下資本利益率は約40%と高水準。(先進国株式は15%強)

設備投資などを抑え、少ない投下資本で市場平均の約3倍近くの効率性で利益を生み出している。



ダナハーの評価ポイント

- ✓ ダナハーはライフサイエンス(具体的にはバイオプロセッシング:細胞培養・細胞分析・成分分離・DNA抽出等でバイオ薬品の製造過程を補助)を中心に、臨床検査、環境・水質検査を手掛けるヘルスケア企業。
- ✓ バイオプロセッシングはヘルスケアセクターの中でも最も成長期待が高いと考える分野で、細胞分析などでバイオ薬品の製造過程を補助し、いったんバイオ薬品の製造過程に採用されるとビジネスが継続することが魅力だと考えます。

ヘルスケア関連のプレミアム企業

- ✓ 製薬会社のほとんどは、粗利益率や投下資本利益率といった条件の一部を満たしてはいるが、プレミアム企業にはなり得ないと考えます。理由として、高収益の継続性に対する懸念で、主力薬品の特許保護が無くなった後が不透明であると考えます。他にも薬価を巡る政府の介入等がマイナス要因となると考えるからです。

(出所)モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、2021年10月末現在における当ファンドの組入上位10銘柄かつヘルスケアセクターである銘柄の中から事業内容等を勘案して抽出した銘柄についてご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・上記は当戦略の運用チームによる見通しおよび見解です。・上記のコメントおよび運用方針は作成時点(2021年11月)のものであり、将来予告なく変更されることがあります。・財務上の各数値は2021年6月末(ダナハーは2021年Q2)時点のものです(先進国株式は金融セクターを除く)。・先進国株式は、MSCI ワールド インデックスを使用しています。なお同指数は、当ファンドのベンチマークではありません。・業種はGICS(世界産業分類基準)のセクター分類に基づいています。指数については裏面の「本資料で使用する指数について」をご覧ください。・写真はイメージです。・国・地域によって取り扱いブランド・製品は異なる場合があります。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

※本資料は「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)」の概要について投資家のみならず皆様にご紹介するために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書(交付目録見書)をご確認いただく必要があります。

裏面の【本資料に関するご注意事項】を必ずご覧ください。

本資料で使用している指数について

先進国株式:MSCI ワールド インデックス MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
GICS(世界産業分類基準) Global Industry Classification Standard (“GICS”)は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor’s)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

投資リスク

基準価額の変動要因:基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動や為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみならず帰属します。したがって、投資者のみならず投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、株価変動リスク、為替変動リスクです。上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

【購入時手数料】 購入価額に対して、**上限3.30%(税抜 3.00%)** 販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。
【信託財産留保額】 ありません。【運用管理費用(信託報酬)】 各ファンドの日々の純資産総額に対して、**年率1.980%(税抜 年率1.800%)**をかけた額
【その他の費用・手数料】 ・監査法人に支払われる各ファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等 ※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。
※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

本資料に関するご注意事項

■本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

販売会社一覧 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

(2021年11月9日現在)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3283号	○	○		
株式会社愛知銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第12号	○			
株式会社あおぞら銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第8号	○		○	
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	
株式会社イオン銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○			○
岡崎信用金庫(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 東海財務局長(登金)第30号	○			
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
株式会社熊本銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第6号	○			
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2938号	○			
株式会社京葉銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第56号	○			
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社十八親和銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第3号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第7号	○		○	
ソニー銀行株式会社(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第578号	○		○	○
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第128号	○			
株式会社中京銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第17号	○			
中銀証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第6号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
東洋証券株式会社(IFA専用)(11月24日から取扱開始)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号	○			○
南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第25号	○			
西日本シティT証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号	○			○
株式会社百五銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第10号	○		○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第134号	○			
株式会社百十四銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第5号	○		○	
広島信用金庫	登録金融機関 中国財務局長(登金)第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号	○	○		
株式会社福井銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社北洋銀行	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社北洋銀行(委託金融商品取引業者 北洋証券株式会社)	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
北洋証券株式会社	金融商品取引業者 北海道財務局長(金商)第1号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
丸八証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第20号	○			
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第38号	○			
株式会社横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

■設定・運用は

三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会